

(福)白寿会

垂井町・福祉(介護)

従業員数 / 男性33名 女性132名 計165名 ※令和7年10月現在

エクセレント
POINT

- ①子育てや介護との両立を支援する多様な勤務形態の導入
- ②勤務シフトの多様化とDXによる職場環境の改善
- ③プリセプター制度の導入による新入職員の人材育成



職員交流を通して、人材育成や働きやすい環境づくりに取り組んでいる。

職員主導で職場の働き方改善

白寿会では、仕事と育児・介護が両立できる職場環境を目指し、小学校就学前まで利用可能な育児短時間勤務制度に加え、新たに配偶者の出産支援のため育児目的の休暇を導入している。

また、働く時間と場所に制約がある人でも働きやすい環境を整えるため、従来の正規職員とパート、アルバイトなどの非正規職員との中間的な雇用形態となる「限定正職

員制度」を新たに導入した。

他にも、週休3日となる10時間勤務制度を導入。職員のプライベートな時間が充実し、リフレッシュ効果が高まることで、精神的負担の軽減につながっている。

職場環境の面では、ICT化及び介護ロボットの活用を推進し、職員の肉体的・精神的負担の軽減を図っている。腰部椎間板症を抱えながら現場での勤務を続ける介護福祉士の渡邊聖子さんは「診断後に現場を離れることも考えたが、勤務

内容の調整や介護用リフトの導入など、無理なく働ける環境を整えてくれた。リフトを使うことで、利用者を安心して介助でき、自身の腰の負担もぐっと軽くなった。そして何より、笑顔で接する余裕も生まれた。これからも前向きに介護の仕事

を続けていきたい」と話す。

在宅事業部では、タブレットPCを導入。スマートフォンのテザリング機能を活用する事で、訪問先で記録や利用者情報等の確認ができる

ようになり、業務効率が向上した。

職員育成においてはOJTを確立し、入職3〜4年目の職員がマンツーマンで指導を行う「プリセプター制度」を導入。業務はもちろん、生活上の不安や悩みの解決もサポートしている。新人職員への指導を通して、誰もが成長できる環境を整えている。

在留資格「特定技能」を持つ外国人も積極的に採用しており、交流会や面談を通して外国籍の方々にとっても働きやすい環境を整えている。



ICTやロボットを活用し、利用者と笑顔あふれる時間を過ごす。